

令和3年度第2回コミュニティ・スクール委員会議結果（要旨）

開催日時	清水 CS 委員会：令和3年10月20日(水)午後7時00分～午後8時24分 御影 CS 委員会：令和3年10月22日(金)午後7時00分～午後8時27分
開催場所	清水 CS 委員会：清水中学校 御影 CS 委員会：御影中学校
委員出席者	清水 CS 委員 森委員長、宮城副委員長、伊藤委員、中村委員、薩摩委員、石井委員、横山委員、下坂委員、松橋委員、近藤委員 御影 CS 委員 田代委員長、田中副委員長、米光委員、水野委員、久野委員、野田委員、細田委員、谷口委員、森委員
事務局出席者	清水 CS 委員会：山下教育長、橋本教頭、津田教頭、休屋教諭、大尾学校教育課長、安ヶ平社会教育課参事、上出 CS コーディネーター 御影 CS 委員会：山下教育長、宮崎教頭、田代教頭、木下教諭、和泉教諭、大尾学校教育課長、本田社会教育課参事、上出 CS コーディネーター
議題・諮問内容	(1)各学校等の実践状況について (2)小中一貫教育について (3)学校と地域との意見交換 (4)その他
会議結果	(1)各学校等の実践状況について所属長より説明された。 (2)小中一貫教育について事務局より説明した。 (3)学校と地域との意見交換を行った。
出された主な意見等	〈清水〉 【各学校の実践状況について】 学校の実践状況について資料に基づき、所属長より説明。 【小中一貫教育について】 山下教育長より、資料に基づき説明した。 【学校と地域との意見交換】 2 班に分かれ、それぞれ事前指定者が進行、記録・発表を担う。 テーマは、学校等の現場での子供の様子から見えてくる家庭の課題が多いことから、しみず「教育の四季」の「家庭」に焦点を当て論議する。 A 班 【園や学校、地域において気が付いた子供たちの様子】 SNS との付き合い方が課題となっている。実名を出してのトラブルや友達に気を遣うあまりに意見が言えないなど。 コロナ禍のため外遊びができず元気がない。 【課題として取り上げるべき事項】 SNS の活用法は、親の質の変化もあるが、家庭でルール作りが大事。子供への押し付けではなく、子供に考えさせることが大事では 家庭相互のつながりや親同士のつながりにより親としてどう成長していくか 【学校、家庭、地域において考えられる手立て】 (学校として) ・PTA 活動を通して保護者間での情報交換により親も成長。 (家庭として)

- ・ SNS のルール作りは、子どもをしっかり見て子供と話し合いながら。
(地域として)
- ・ 親同士で話すと身に入る。コミュニケーションをとることにより親も子ども成長する。

B 班

【園や学校、地域において気が付いた子供たちの様子】

宿題は本来家庭でやるものだが、家庭環境によりできないところがあり学童でやっている子がいる。

ボランティアとして学校に入ると、基本的しつけは家庭でやってほしいと感じる。

朝食が欠けている子供がおり、頭が働かない。

【課題として取り上げるべき事項】

朝食を食べてきていない児童がいて、給食で賄っている実態がある。

家庭学習が家庭環境によりできないことから学童で補っている。

【学校、家庭、地域において考えられる手立て】

(学校として)

- ・ 保護者アンケート結果や家庭訪問などの様子を情報提供。PTA 活動での呼びかけや学校便り等での啓発
- ・ 子どもと親との関わり大切さを諦めずに伝え続ける。うったえ方の工夫

(家庭として)

- ・ 親として自らの意識を変えなくてはならないが難しい。
- ・ 保護者の心の余裕も大切。完ぺきではなくとも、朝ご飯だけとか読書だけでもそれをやることにより子供との関係ができてくるのではないか。

(地域として)

- ・ こども会としても呼び掛けている。地域の行事にも親子で参加してもらえれば変わっていくのでは。

森委員長より閉会あいさつ。(20 時 24 分)

〈御影〉

【各学校の実践状況について】

学校の実践状況について資料に基づき、御影小学校長、御影中学校長より説明

質問~御影小学校で取り組んでいる「ありが搭」とは？

回答~感謝の気持ちを貼って掲示している。

質問~ICT の活用としてタブレット活用の状況は？

回答~小学校ではドリルや予習、理科の調べ学習、学習発表会に向けたパート練習、持ち帰っての家庭学習、体育の鉄棒における体の使い方、町の良いところをスライドで作成するなど学年に合わせて活用している。

中学校では、先生との連絡、タブレットの中で意見交換や情報交換、学習発表会に向けた持ち帰りでのパート練習、授業の振り返りもゲ

	ーム感覚で定着が図られている。様々な活用が考えられるがセキュリティも含め小学校と打ち合わせを行っている。 質問~小学校で行われたプログラミング教育の研修とは？ 回答~教員を対象に町教委 ICT 支援員を講師に迎え使い方を学んだ。 質問~家庭学習の時間は増えているのか？ 回答~必ずしも増えていない。タブレットも毎日持ち帰りではない。 【小中一貫教育について】 山下教育長より、資料に基づき説明 質問~令和 4 年度から道の委託を受けるのか？ 回答~道の予算が若干あるようだが、来年度の人的派遣等はないようだ。 なお、帯広の大空小・中学校が先行していることから、1 月に講演会を開催するのでぜひ参加していただきたい。 質問~地域への説明は？ 回答~まずは保護者への説明を行い、地域への説明は来年度からやっていきたい。 【学校と地域との意見交換】 2 班に分かれ、それぞれ事前指定者が進行、記録・発表を担う。近藤委員欠席により A 班の記録は田代御中教頭が担う。 A 班 【学校、地域において気が付いて子供たちの様子】 ・ 学校としては、地域の人の目を通し登校時の子供の人間関係の変化を感じた事があれば、小さな情報でも大きな事のきっかけになるので学校に届けていただくとありがたいとのこと。交通指導員の方や地域の方から情報をいただきながら、子供も成長によって変化していくが、学校としては子供の気持ちを引き出して生徒指導をしていく。 【課題として取り上げるべき事項】 ・ 御影は挨拶ができていて身についている。(子供も高校生も大人も) ・ 課題としては、スマホ、ゲーム、テレビの時間が問題で、少年団が終わって家に帰ると「みんなと遊ぶ時間がない」とのことから親の就寝後にスマホを使うことがあるようだ。 ・ みんなが持っているとか持っていないと SNS での会話についていけないと子供は主張。 ・ 研究結果では、スマホの使用時間など自分で生活が決められる子供は学力が高いとのことである。 【学校、家庭、地域において考えられる手立て】 ・ 難しいが自己管理できる力をつけさせたい。 B 班
--	---

	【学校、地域において気が付いて子供たちの様子】 ・体力の低下。体感の弱さが気になる。呼びかけの反応の少ない子が多くなっている。のびのびしている子が多い。素直なことが多い ・家庭での生活リズムの安定が大事。 ・コミュニケーション能力の低下が心配 【課題として取り上げるべき事項】 ・家庭での生活リズムの安定 ・コミュニケーション能力の低下 スマホテレビの視聴時間ゲームの時間が長い。家庭でのルール作りが必要、学校でのルールと家庭でのルールがかみ合わない部分があり、家庭での会話が少なくなっていないか。視力の低下が心配 【学校、家庭、地域において考えられる手立て】 (学校として) ・家庭への呼びかけ。サポート。子供達への呼びかけ。 ・コミュニケーションを積極的に行うよう働きかけ。 (家庭として) ・恥ずかしがらずに子供と触れ合い、会話しよう。 ・家庭でのルール作り。 (地域として) ・子育てサポートとして、父親母親になる前の教育の場があると良い。 田代委員長より閉会あいさつ。(20 時 27 分)
--	--